

令和6年度 こども園（保育園）関係者評価
園評価・評価委員最終評価シート
子育てセンターこまつ

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価
評価日時： 令和 7年 2月 7日(金) 13:30~14:30

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

不思議と思う心を中心に 子ども一人ひとりの率直な驚き、疑問、夢を大切に育みます

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

自然と人とのかかわりで育つもの 不思議だな やってみたい
当園では『不思議と思う心』に寄り添い、子ども達一人一人の率直な驚き、疑問、夢を大切に全職員が子ども達の育ちに良い環境となるよう努めます。生きる力を育むために、7つの活動を展開している他に、あそびのコーナーを充実させ、その中で子ども達が四季を通して様々な“みつける”実体験をしていき「気づき」や「主体性」、「興味」を引き出している環境を整えていきます。保護者と共に成長した喜びを共有できるよう、あそびのコーナーの計画を立てながら、園の様子や子どもの姿をブログや掲示等を通して発信し、情報共有していきます。また、職員一人ひとりが自身の強みを活かし主体的に保育の知識を深め、得た知識を実践し共有を図ります。地域においては、人とのつながりを深めること、また保護者に提供している情報やあそび等の園の資源を親子ひろばを通して発信します。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価		評価委員最終評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由（評価委員から）
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めにグランドデザイン、教育計画における重点目標を全職員で共有・周知を図り、意識して取り組んでいる。 ・運営の計画が明示されている経営書を各自手元に持ち、研修等で再認識を図ったり自身でも見返しを行っている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザインが分かりやすく、具体的に示されている。 ・園全体で目標に向かって取り組むことができています。 ・職員会議や研修等の中で、共有することができています。 ・園の活動の様子から、目標の理解ができていると感じた。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	4	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルで指導計画を作成し、会議・カンファレンス等で共通認識を図り、教育・保育の実践に繋げている。 ・年間計画や月案と関連づけ、子どもの興味や関心、意欲を踏まえながら活動を考え日々の教育・保育に繋げている。 ・計画や環境への理解に個人差があるため、周知の仕方や確認においては課題である。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味、関心が引き出される環境設定がされている。 ・指導計画が毎週立てられ、保護者にも計画が見えるよう毎週配信されている為安心に繋がっている。 ・コーナー遊びの中で、テーマである「みつける」の活動が取り入れられている。また、季節や伝統的な遊びも取り入れられている。

<p>Ⅲ. 子どもにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的にあそべる環境や異年齢での関わりの良さを活かしながら心地よく生活する中で、多様な子ども個性を活かし共に育ちあっている。 ・生活やあそびにおいて選べる環境がある中で自己決定を大事にもらい、子どもの満足感に繋がっている。 ・担任だけでなくみんなの先生として関わってもらい、様々な人の中で育っている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊びを選ぶ事ができ、自己決定や自主性に繋がっている中で、個性が大切にされている。 ・参観を通して子どもたちが生き生きと活動する様子が見られた。 ・異年齢の関わりの中から、自然と交流が生まれ優しさや思いやりが育まれている。また、担当職員以外の子どもの理解に繋がっている。
<p>Ⅳ. ファミリーにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参加やかぞくの日等に参加してもらうことで、日頃子どもたちが楽しんでいるあそびの体験や地域を知ってもらう機会となった。 ・園での様子をブログや活動の様子に加え、ドキュメンテーションを活用して掲示することで保護者に分かりやすく示し、子どもとの共有の場となっている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参加やかぞくの日等、子どもの姿を間近で見ることが出来る良い機会である。 ・相談できる場所があることで安心して子育てができる。 ・担当以外の職員も声をかけてくれ、園全体で子どもを見てもらう事ができていると感じる。 ・写真を通して、園の活動を見ることが出来る。 ・開かれた園となるよう努力が感じられる。 ・ドキュメンテーションによる情報発信は良い取り組みだが、子どもと一緒に作り上げると更に良い。
<p>Ⅴ. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・見学者や子育て講座においては多くの方に利用してもらっている。また、おやこひろば利用から一時保育利用、更には来年度の入園（1号認定）に繋がったケースもある。 一方、おやこひろばの利用や子育て相談に繋がるケースが少ない現状がある。 ・継続的な利用に繋がるよう外部への子育て通信や掲示板・環境を見直し、あらたに1・2歳児の同年齢園児とあそべる日を設定した。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども真ん中社会と言われる今、園としてできることはまだあるのではないかと。 ・昨年からの変化や努力は見られるが、外に向けての情報発信は工夫が必要だと感じる。掲示板は目につくよう工夫されているが、見る人が限定されている。(園の近くを通る方、遊びに来た方) ・広報について改善が見られるが、園に来ない方に向けての広報の仕方を工夫すると(商店街や協働センター等に手紙を掲示していただく)園を知ってもらう機会に繋がるのではないかと。
<p>Ⅵ. スタッフにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性が生かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりの得意とすることや自ら設定した学びを日々のコーナーあそびの場で活かしている。カンファレンスの中でもそれぞれの取り組みを職員間で共有し認め合える場がある。 ・園内外の研修に参加したり、他保育者の研修報告を受け実践したり共有したりしながら視野を広げ、保育のスキルアップに繋がっている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は園の一員として生き生きと働いている。 ・職員それぞれが得意な事を保育に活かし、会議で認め合い保育の向上に繋げることができている。 ・得意なことを活かしていく為、自ら学ぶ事でスキルアップに繋がっている。 ・年度始めに3月を見据えた目標を立てることで、1年間継続して取り組むことで仕事の活性化に繋がる。